

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和4年度報告)

1 被害防止計画の特徴等

ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ、カワウを対象としており、集落ぐるみの侵入防止柵の設置等の取組を実施する。
また、捕獲については、平成24年度に設置した鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲を積極的に実施する。

2 事業効果の発現状況

銃器による捕獲に加え、農作物被害等が著しい地域においては、くりわな、はこわなによる捕獲を併用。ニホンジカ、ニホンザルについては捕獲頭数は減少傾向にあるが、イノシシについては令和4年度再び増加傾向に至っている。
また、狩猟免許取得を推進し、鳥獣被害対策実施隊員の確保に努めるとともに、捕獲体制及び捕獲機材の整備に取り組んだ。

3 被害防止計画の目標達成状況

ニホンジカ、ニホンザルは軽減されているが、カラスは増加となった。イノシシ、ヌートリアは被害金額は軽減されているものの、被害面積については増加傾向にある。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (構成市町名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見
										被害金額(万円)			被害面積(a)				
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
土庄町鳥獣被害防止対策協議会 (土庄町)	土庄町 全域	2	ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ	狩猟免許の取得	4名	土庄町鳥獣被害対策協議会	R2.9	100%	・狩猟免許取得経費補助による狩猟者の確保を図った結果、豊島地区を中心に狩猟者の増加に至った。 ・わな購入による有害鳥獣捕獲拡充により捕獲数の増加を図った結果、3か年平均1,022頭の鳥獣害捕獲が行われた。 ・狩猟講習会によって、鳥獣保護管理法等に関する順守及び捕獲技術の向上をは図った。 ・鳥獣害被害についても、目標金額及び面積共に被害の抑止に繋がった。	848	468	282.7%	466	383	174.1%	猟友会、関係団体等と連携し、被害防止対策を継続して実施している。 捕獲技術の向上、捕獲に使用するわなの増設による有害鳥獣捕獲の拡充が図られた結果、捕獲頭数が増加した。 しかしながら、捕獲数に見合っていないことから、適正な個体数にはなっていないのが現状である。 このため、今後も継続して捕獲圧をかけ続けるとともに、各種被害対策を実施する必要がある。	集落環境の改善、侵入防止柵の設置、効果的な捕獲による総合的な被害防止対策を継続してほしい。(香川県農政水産部農業経営課 主任専門指導員(鳥獣害)矢木聖敏)
			イノシシ	箱わな大購入	22台		R3.3	100%									
			ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ	くりわな購入	40台		R3.3	100%									
			ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ	初心者狩猟講習	1回		R2.12	100%									
		3	ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ	狩猟免許の取得	4名		R3.9	100%									
			イノシシ	箱わな大購入	7台		R4.3	100%									
			ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ	くりわな購入	27台		R4.3	100%									
			ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ	初心者狩猟講習	1回		R4.1	100%									
		4	ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ	狩猟免許の取得	7名		R4.9	100%									
			イノシシ	箱わな大購入	8台		R5.3	100%									
			ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ	カワウ駆除	1回		R5.3	100%									
			ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ	初心者狩猟講習	1回		R5.3	100%									

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。